

TAKAMATSUプロジェクト~Make your dream take wings~

目的：「大学卒業後にどのように生きていくか」までを見通しながら、自分の進路実現に向けて、どのように現在を生き、どのような未来を築いていくのかを考えて周囲と協働して行動できる生徒を育成する。

※キャリアプラン＝進路意識高揚策（キャリア学習と課外活動など含めた総合学習）とサクセスプラン＝学習支援策が相乗的に活きる教育活動を行う。

（学力があってこそその進学、人間力があってこそその学力）

- ↓・行事ごとに必ず、事前学習（目的提示&調査学習など）、事後学習（感想・振り返り記入）を行わせる。
- ↓・職員会議で、事前に目的と計画を提示し、事後に生徒の振り返りを含めて実施内容を報告する。
- ↓・生徒には全ての活動について記録を取らせていく。（校外活動、資格取得なども）

*このプランはあくまでも三年間の教育活動の全体的な流れであり、基本となるものです。個々の活動を規定するものではなく、目標に向けての、生徒の学びおよび教員の教育活動の、見取り図的なものです。

		キャリアプラン (キャリア・進路意識高揚)				キャリア意識に根ざした 学習モチベーション		サクセスプラン (課題探究活動、日々の学習)							
		全校	学年	目的 (生徒視点)	教師の活動	総探 コマ	知識・思考力に根ざした キャリア学習・探究学習	課題探究活動	教科学習・考査・校外模試	目的 (生徒視点)	目的 (教員視点)	支援 上位層 中下位層			
1 年 次	4 月	上旬	4/6 入学式 4/7,8 学習オリエンテーション	飯田高校生として、どのように生活していくか（考え方も含め）どのように学習していくか、さらにキャリア教育の意義についても理解。	担任団+教科担当+副担任 「飯田高校生になる」指導。進路学習心得・生活心得・年間計画・情報モラル・教科学習・アイスブレイク 等。	5	キャリア意識に根ざした 学習モチベーション ↑ 知識・思考力に根ざした キャリア学習・探究学習 ↑ 高校卒業後、また 大学卒業後の自分を イメージすることにより 学習モチベーション向上		入学前 プリッジ教材 4/9 実力テスト (ｽｽﾞﾊﾞ ①)	中学時学習内容に抜けがないかの確認。学習習慣の振り返り。	中学時学習内容に抜けがないかの確認・高校生活を始めるうえでの注意点の把握。集団傾向の見立て。	PDCAサイクル、特に振り返りの重要性を意識づけ。			
		中旬	4/16 進路希望調査 (キャリアプラン)	自己の将来像を具体的にイメージ開始。	希望を集約し生徒の進路意識を把握し、指導に反映。日々の学習への心配も吸い上げ。PTA総会資料とする。 年間計画再立案。実際の生徒の状況をふまえながら、年間計画を調整。	1						予習→授業→復習のリズムを意識づけ。適宜学習記録調査。生徒の心配等を吸い上げ。			
		下旬	教育活動支援システム オリエンテーション	教育活動支援システムの利用について理解。特に、学びの軌跡を電子ポートフォリオへと蓄積することの必要性・意義について理解。	教育活動支援システム (Classi) 環境整備。特に、学びの軌跡を電子ポートフォリオへと蓄積することの必要性・意義について解説する。										
	5 月	上旬						学習習慣の 確立 ↓ 主体的 計画的 協働的な						長いGWの学習計画を確認。	
		中旬	南信総体				2		5/21 探究学習講話(探究導入)						か表 う層 姿的 的な 醸知 成識 の・ 積理 極解 的に な留 まら ない、 思考 判断 表現 ・学 びに 向
		下旬	PTA 総会 5/23 学年PTA		学年としての進路学習指導スラスを、家庭に対して具体的に表明。進路学習指導についての具体的な情報（大学入試の基本的流れなど）を、タイミングをふまえながら、適宜紹介。家庭としての進路学習指導についての意識を、教員として見立てる。要望・疑問等を吸い上げ、今後の指導支援に反映。					5/18-24 家庭学習 重点週間 5/25-27 第1回考査	授業内容のまとめ。学習習慣の振り返り。	学習習慣確立状況・内容定着の確認			な生 活立 りて と支 援業 ・家 庭課 外活 動に ・家 庭学 習・ 課題 整理 。に つ い て 具 体 的
	6 月	上旬	県大会 芸術鑑賞 CM		教養醸成。 主体性・協働性の育成。			進学への具体的な情報と イメージを持つことにより ↑ 知識・理解に根ざした 傾聴力・思考力の向上 ↑ 主体的・協働的活動による 集団としての力の向上 ↑ 知識・理解に根ざした 傾聴力・思考力の向上							
		中旬	北信越 大会 6/15,16 信大説明会		地元国立大学の講義・説明に触れ、高校と大学の学びの違いを知り、進路意識を醸成。										
		下旬	先輩(教育実 習生)に学ぶ		年齢に近い卒業生というモデルケースに接し、具体的な成功体験・失敗体験を知ることで、進路意識を深め、学習習慣を再確立。					6/26-28 探究活動個人テーマ発表					
	7 月	上旬						夏までの 学習をまとめ 生活を振り返り 集中学習や 体験に反映 ↑ 視野を広げる ↑ 秋の課題明確化		7/6-8 第2回考査	授業内容のまとめ。学習習慣の振り返り。	学習習慣確立状況・内容定着の確認			
		中旬								7/11 進研模試	「大学進学」及び「全国」を意識。	「大学進学」及び「全国」を意識付け			
		下旬	キャリア学習 「夢ナビ2020 名古屋」		キャリア学習の一環として、自分の興味関心に合わせた大学教員の話聞き、見識を広げる。他地区の生徒たちが集まるイベントに参加することで、全国の仲間、ライバルを意識する一助とする。	「関心ワード」を記入させ、現時点の興味関心分野を整理させる。当日は受講する講義ライブのみならず、個別の大学説明ブースやまなびステーションを意欲的に利用させる。得た情報や感じたこと等の振り返りをさせる。	5								体活夏 的か休 なすみ 提たを 案め最 の大具 限
8 月	上旬	夏の各種体験 オープンキャンパス 就業体験 看護体験 ボランティア 等		キャリア学習として、自分の進路に合わせた個別のオープンキャンパスや就業体験で、視野を広げる。	計画書、報告書を書かせ、計画書の段階を確認し必要ならばアドバイス。報告書で良いものをプレゼンできるように生徒に準備指導。生徒が受け身で参加するのではなく、問題意識や意欲を持って積極的に活動できるように支援。	2							・視野を広げるための具体的な提案・情報おろし。 ・時間を無駄にさせないための具体的な指導。		
	中旬														
	下旬		(探究学習 講話(信州学))			2		8/24 夏期休業明け 実力テスト	夏休み中に取り組んだ復習内容の確認。	夏休み中に取り組んだ復習状況の確認	学習リズム・姿勢再確立。学習集団再構築。				

*このプランはあくまでも三年間の教育活動の全体的な流れであり、基本となるものです。個々の活動を規定するものではなく、目標に向けての、生徒の学びおよび教員の教育活動の、見取り図的なものです。

		キャリアプラン (キャリア・進路意識高揚)				サクセスプラン (課題探究活動、日々の学習)					
		全校	学年	目的 (生徒視点)	教師の活動	総探 コマ	課題探究活動	教科学習・考査・校外模試	目的 (生徒視点)	目的 (教員視点)	支援 上位層 中下位層
9月	上旬										
	中旬		9/10 進路研修旅行	大学・企業で働く先生方、先輩方からご自身の専門分野や、これまでどんな経験をされてきたかといった話を聞きながら、キャリア学習として自分の将来について具体的にイメージする一助とする。	3月から大学を中心に大学訪問のお願いをし、受け入れ先を決定する。大学が決まってきたところで企業様に見学訪問のお願いをする。生徒には、事前学習としてこの研修旅行の趣旨を伝え目的意識を持って参加できるようにする。事後の振り返りをさせる。	5				学習リズム・姿勢再確立。学習集団再構築。	
	下旬		9/24 科目選択 説明会	2年時科目選択の知識・理解。希望進路をふまえながら、建設的な選択へ。	科目選択と、それに連動する3年間・進路活動の見通しについて説明。苦手ベースの消極的選択にならないよう、前向きな検討を指導。	1		9/28-30 第3回考査	授業内容のまとめ。学習習慣の振り返り。	授業内容のまとめ。学習習慣の振り返り。	考査・文理選択・模試…と連続するイベントを意識した指導。
10月	上旬		CM	主体性・協働性の育成。				10/10 スタサポ② 10/17 駿台HL模試 (理数科+希望者)	この半年の変化や、高校生の学習スタイルが身についているかを把握。	この半年の変化や、高校生の学習スタイルが身についているかを把握。	各教科においても成果・課題を洗い出し、計画調整と指導への反映。必要に応じて補習等も。
	中旬		教育懇談会	保護者とともに講演会を聴き、教養や職業観を醸成。		2					考査・模試については「復習・振り返り」の重要性を改めて確認。
	下旬		独立120周年記念講演会	単なる作文ではない、小論文を書くことの初歩を理解。同窓会講演会により、同窓会の支援と学校の歴史と伝統を感じつつ、進路意識の視野拡大。	学習係、国語科を中心に1学期のうちに教材選定。1回目の模試をこの時期(10~12月あたり)に実施する。必要があれば講演会も。	2		10/31 ベネッセ総合学力テスト①	苦手教科の現状と克服のポイントを確認にする。	苦手教科の現状と克服のポイントを確認にする。	
11月	上旬		総研大 模擬講義	大学院生から、それぞれの研究テーマや大学院での生活等について話をさせていただくことで、興味のある分野の先端研究に触れる機会とするとともに、自身の将来についてより具体的にイメージする機会とする。	生徒に興味関心分野の希望をとり、模擬講義を設定する。大学院生は生徒にとって比較的年の近い研究者であることも含みつつ、研究や日常の生活について学ぶよい機会とする。	2					家2志 庭年望 連後系 絡か統 目ら・ 活逆進 用算学 したを 学具習 体的 生の 活に の話 計題 画に。
	中旬										
	下旬										
12月	上旬		12/4 社会人講話	身近・地元で働く職業人の方々の講話で職業観を涵養し、職業・大学選択に反映。保護者・地域をキャリア教育へと巻き込み。	前期の早い段階で、PTAの代表の方を通じて、保護者の中で話をしてくださる人・大学・企業関係者と交渉。生徒希望調査→コース割り振り。2コース計画原則。	2	12月中 探究学習中間発表 (個人) ※情報の時間	12/2-4 第4回考査	授業内容のまとめ。学習習慣の振り返り。		しき極講 ヤ的話 ツに等 チ。促も き、つ 要、つ 学教か び員け 直とし ししし 分ても 意野も 識の変 化変 いを革 出を積
	中旬							12/5 GTEC	英語四技能の力を測り、以後の学習の指針とする。外部試験の形態に慣れる。		
	下旬										
1月	上旬		慰霊式								
	中旬		1/16, 17 大学入学 共通テスト					1/9 ベネッセ総合 学力テスト	1年時の学習内容の総チェック。春休みへの指針とする。	1年時の学習内容の総チェック。春休みへの意識付け。	模試が連続し、かつセンター試験が行われているという好タイミングを最大限活用。各自の達成目標を意識・計画させ、その振り返りもしっかりとさせる。
	下旬							1/23 全統 or 駿台 模試 (希望者)			
2月	上旬					2	探究学習発表会				促生成学 す。徒果 習自課 リ身題 ズのに ムCつ とAい そを ての
	中旬		小論文 リポート	テーマに基づいた小論文力の向上。	リポートの意義・ポイントを生徒に周知。3年間という視点でも貴重な機会であることを意識づけ	1					せ洗要 い学 出び し直 ・し 気分 づ野 かの
	下旬		1年時キャリア教育の まとめ	1年時に行ってきたことを振り返り、この1年間で将来に向けて何を考え行動してきたのかをまとめ、入学時と比較して将来像が具体化してきたか、それに向けて学習面などで準備を始めてきたかなどを自己チェックする。	1年間のキャリア学習についてアンケート配信。集約した上で次年度の計画を調整。後進学年への引き継ぎ。	1		2/25-3/2 第5回考査			
3月	上旬		卒業式						3月~2年時スタートへ向けた学習が効果的になるように、3月特編授業を計画。		文理に分かれることの 意味合いについて、過 不足なく再確認。
	中旬							学習合宿	学習に全力を注ぐという、個々の姿勢と集団の雰囲気強化。新年度へのばね。		
	下旬										

